

## 1 部門目標

安全な麻酔管理を提供できるよう努めること  
他部門や手室のスタッフとコミュニケーションをとって、  
円滑な手術室運営を心がけること

## 2 業務体制・スタッフ

佐藤由美、吉田亜紀子、蓑輪百合子の3名の常勤スタッフで麻酔業務を担当させていただきました。

麻酔科の医局の実情として、常勤スタッフを派遣していただけることはないため、篠原先生（千葉大学）、根橋先生（千葉医療センター）に、外勤として協力していただいております。

## 3 業務実績

麻酔管理症例数

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
全身麻酔	1062	1152	1154
吸入麻酔	443	447	500
完全静脈麻酔	448	525	501
硬膜外併用 吸入麻酔	72	81	72
硬膜外併用 完全静脈麻酔	99	99	81
局所麻酔	235	225	241
脊椎硬膜外麻酔	234	216	228
硬膜外麻酔	0	2	0
脊椎くも膜下麻酔	1	7	13
総計	1297	1377	1395

#### 4 1年間の総括

令和元年度は、織田教授が海浜病院にいらして、救急部門をたちあげてくださったという記念すべき一年でした。初期研修医のかたが、まず、診察して、在籍して下さる一年として開始されました。(初期研修医のかたの獲得は、毎年1-3人、0人もあり得るのが、私の中で想定されていたことでした。)

麻酔科と初期研修のかかわりは、麻酔科にローテ中に気管内挿管という手技を獲得するお手伝いをするというものです。

逆に、初期研修に参加して、あらためて毎日、気管内挿管する日々が麻酔科の日常であり、プライマリーは全く関係しない部門であると意識されました。患者様の既往歴、データ等がでそろって、手術に向かっていくという方針が決まった段階で、麻酔科医の関わる場面となるわけです。

世の中には、ICU や産科病棟のカンファレンスにあらかじめ顔を出し、早めに手術となりそうなかたの情報をつかんでおくという意欲的な麻酔科医もいらっしゃるでしょうが、私としては自分が参加しやすいタイミングを待つほうが性に合っていると思われまます。

プライマリーをお引き受けして、手術まで調整して下さる先生方のご尽力に感謝いたします。

#### 5 今後の目標

安全な麻酔管理を提供できるよう努めること

他部門や手室のスタッフとコミュニケーションをとって、

円滑な手術室運営を心がけること

今後とも、ご指導のほど、よろしく願いいたします。

最後に、運営方針の転換や、常勤スタッフの交代がありましても、その都度、ご助言をいただきまして、ありがとうございます。